



松工ものづくり キャリア・パスポート



あなたは小学校・中学校から、キャリア教育に関わる様々な学習活動について、取り組んできました。

せっかくやってきた色々な気づきや貴重な学びについて蓄積し、心に残ったこと、発見したことなど、学年をこえてつなげ、振り返ったり見通したりしながらポートフォリオ（成果集）としてまとめるのがキャリア・パスポートです。

高等学校では、特に、学習、技能、実績について、自分が変容したこと、身につけたこと、努力・改善できたこと、夢中になっていることなどを計画的に振り返ります。

「ものづくりは人づくり」

ものづくりの原点は「人づくり」です。良いものをつくり、良い仕事をするには、良いヒトが求められます。

人は他者、社会とのかかわりのなかで、様々な役割を担いながら生きています。自分の役割を果たしながら、自らの役割の価値、自分と役割との関係を見いだしていきたいと思います。

また、『ヒト・モノ・コト』の関係・つながりを感じ、「できること（できそうなこと）」「意義を感じること」「したいこと」について、考えていきましょう。

工業高校で学んだあなたの足跡（努力、経験、思考したこと）を主体的に掘り下げ、活かしていくことで自己実現や成長につなげてください。

本校は、ものづくりの視点を取り入れた成果集をつくっています。そして、「未来を担う人材を目指してほしい」という思いから『ものづくりキャリア・パスポート（ものキャリ）』と呼んでいます。ですから、ワークシート以外にも、あなたのこれからの進路、働き方、学び方を考えるのに役立つ様々な資料、成果物などを綴じてもよいでしょう。

自分が通ってきた路にどのような名前を付けるか。それこそが『キャリア（轍：わだち）』なのではないでしょうか。

科 1 年 （正式名）	番	氏名 （楷書で丁寧に）
-------------------------------	---	-------------------------------



校訓「修道創意」と本校について

本校は今より百十年前の明治40年4月30日「松江市立工業学校修道館」の名で、市内南田町に誕生した。尋常小学校卒業後3年4ヶ月の徒弟学校(職工養成の学校)で、当時は制服も緋（べに）の着物に小倉の袴、下駄ばき姿であったという。街の人々は「修道館工業」と呼び親しんだとのことで、第1回卒業生は29名であった。

百年の星霜を経た今日、見事に全国一流の大規模工業高校に成長し、3万に迫る有為な人材を輩出してきたが、その間校訓は二度制定されては姿を消している。「校訓」は建学の精神に立脚したその学校の歴史・特性を象徴し、かつ、そこに集い学ぶ者にとって永遠の心の灯となるものである。

ところで、本校創立時の校名「修道館」は旧松江藩校修道館を継承する誠に由緒深い名称で、工業高校としては全国にその例を見ないものである。

「修道」の語は、源を中国古典『中庸』に発し「自律自学」をその本義とする。そして松江藩校の士道養成の法・道の指標として掲げられたと思われる。すなわち「自からの意志で学ぶことが人間として真に生きる道」の意であり、この東洋の哲学は、万古不易の教訓といってよく、けだし郷土教育の原点といえる。」(S.60.3.19中村元博士談)

キャリア教育で培いたい能力（基礎的・汎用的能力）

- ☐ 人間関係形成・社会形成能力
- ☐ 自己理解・自己管理能力
- ☐ 課題対応能力
- ☐ キャリアプランニング能力

※4つの能力は独立したものではなく、相互に関連・依存した関係である。特に順位があるものではなく、全ての者が同じ程度、均一に身につけることを求めるものではない。

本校のキャリア教育で身につけたい力

- ☐ 実習等におけるグループ学習を通して、協働することができる
- ☐ 社会人・職業人として自立するために、思考や感情を律して学ぶことができる
- ☐ 課題研究等を通して、課題を発見・分析し、解決することができる
- ☐ 働く意義を理解し、主体的にキャリアを形成する

【ワーク】いまの自分をふりかえろう

次の質問に対して、1 ～ 5 の中で最もあてはまるものに○をしよう。

ちから	できない できる 
① かかわる 力 	☐ 場に応じたあいさつ、言葉づかい、返事ができる できない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 できる ☐ まわりや相手の立場を大切にし、よりよい人間関係を築くことができる できない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 できる ☐ 地域の特色やよさがわかり、愛着をもって人、自然、産業とかかわろうとしている していない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 している ☐ 自分と違う考え方を受け入れながら、自分の考えをわかりやすく伝えられる できない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 できる ☐ 他者と協力して学習や活動ができる できない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 できる
② 自分と 相手を みつめる力 	☐ 自分の長所、自分らしさを自覚し、よさを伸ばそうとしている していない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 している ☐ 自分のやりたいことや向いていると思う取り組みがある ない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 ある ☐ 自分の意思で決めたことについて責任をもつことができる できない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 できる ☐ 自分の得意なこと・不得意なことを理解している していない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 している ☐ 相手の話を丁寧に聴くことができる できない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 できる

- ④
自分を
創り
目標に
近づける力



- 2 -

☆ チェックした項目について、なぜそう思うのか、例えばどんな場面でどのようにできる(できていない)、課題がある…など、自分の学び、これまでの学校行事、諸活動などを通した経験を振り返り、記入してみよう。(本校に入学して間もない1年生ですので、中学3年生以降のことを含め考えてもかまいません)

力	振り返り
① かかわる力 	
② 自分と 相手を みつめる力 	
③ やりぬき 自分を のばす力 	
④ 自分を創り 目標に 近づける力 	
<ここは記入しない>	

【ワーク】 1学期に取り組むこと（挑戦してみること）を具体的に計画しよう。

（１）将来の（なりたい）自分をイメージしてみよう。

【記入例】

- ・ ○○業界で働きたい
- ・ スポーツをしながら働きたい
- ・ ○○会社に入社したい
- ・ 島根で働きたい
- ・ ○○を造りたい
- ・ 海外に出てみたい
- ・ 起業したい

なりたい自分
こうありたい！

（２）今の自分についてまとめよう（いまできることは？）

性格、能力、好きな科目
得意なこと、特にやっていること
習慣、○○できる、○○できるよう
に頑張っている、特徴（特長）取り
組んでいる諸活動…
※小さなことでもよいので
挙げてみよう。

※「ものキャリ」ですので
ものづくりや工業技術について、
興味・関心を持っていること、
こだわり、取りたい資格、身につ
けたい技術・技能も書いてみよ
う。＝「ものキャリ」目線

（３）なりたい自分に近づくために、まずこれをやってみよう！

1学期に取り組みたいこと、努力したいことを書きましょう。

「ものキャリ」目線で、具体的なアクション、取り組み、
自分との約束、マイプロジェクト、チャレンジなど



※書いた内容は、今後どんどん変わり、進化してもよいと思います。のびのび、しっかり考えてみましょう。

メモ欄

記入するスペースが足りない場合はここにどんどん書き込もう。
自分の思考を整理して伝えるために、図やイラストを使って説明してもよいでしょう。
先生からのアドバイスなどがあれば、ぜひ書いておきましょう。